

一般社団法人長崎県情報産業協会

魅力ある企業パワーを結集し 共存共栄と地域社会の発展に寄与



正会員(83社) [50音順]

アイ・エス・ケー(株) (株)アイコック アイティースペース(株)

株アイルミッション

(株)アップルドクター

㈱アドミン

いさはやコンピュータカレッジ

石田コピーセンター(株)

㈱イシマル

(株)インテグラ・インフォテック・ジャパン

(有)永電エンジニアリング

工]一電子工業㈱

エコスフィア(株)

SCSK二アショアシステムズ(株)

株)NDKCOM

NBC情報システム(株)

fj.misc(エフジェイミスク)

(株)エフタイム

㈱MHIパワーコントロールシステムズ長崎事業所

(株)エル・エス・アイ

扇精光ソリューションズ㈱

オーシャンソリューションテクノロジー(株)

オフィスメーション(株)

株のrangeshare (オレンシ゛シェア)

㈱カナル

㈱亀山電機

株からくり

絆データーシステム株

㈱Otnet 長崎支店

Q-bicソリューションズ(株)

協和機電ホールディングス㈱

(株)グローバル・システム・クリエイト

ケービーソフトウェア(株)

㈱コアワークス

(株)コミュニティメディア

コラボソフト(株)

㈱サイバーキューブ

㈱シアスタ

㈱システック井上

システムファイブ(株)

システムリード(株)

島原ソフトウェア㈱

シャイン(株)

(有)スカルパシステムサービス

株スタイルネット

Standard Force(株)

有正文社印刷所

㈱相武システム

大新技研㈱

ダイワボウ情報システム㈱ 長崎支店

(株)ディーエスブランド

(株)ディーソルNSP

(株)ティエルエス

(株)出島リサーチ&コンサルツ

DX有明支縁校

(株)デュアルキーシステム

株ドゥアイネット

(株)長崎ケーブルメディア

㈱長崎再興

㈱長崎新聞社

㈱長崎総合情報センター

長崎バス情報サービス㈱

(有)西九州メディア

日本]ンピ1-タダイナミクス㈱ 長崎営業所

(株)日本ビジネスソフト

㈱ビーオルグ

㈱ヒューマンウェイブ

株ファティマ

富士フィルムと、シ、ネスイノヘ、ーションシ、ャハ。ン(株)

長崎支社

不動技研工業㈱

㈱プロゼ

(株)プロデュースメディア

㈱マゴオリ 長崎支店

マックスコーポレーション(株)

㈱水上洋行 長崎営業所

(株)ミロク情報サービス 長崎支社

(株)メトロコンピュータサービス

株ユースフル

ユニオンソフト(株)

(株)LAplust (ラプラス)

有ランカードコム

リコージャパン(株) 長崎支社

(株)ワールドシステムサービス

特別賛助会員(6社) [50音順]

(株)シーエーシー (株)十八親和銀行 全国サービス産業企業年金基金 西日本電信電話(株) 長崎支店 日本電気(株) 長崎支店 富士通Japan(株) 長崎支店



一般社団法人 長崎県情報産業協会



Nagasaki IT Solution Industry Association



会長 瀘本 浩邦

長崎県情報産業協会は、長崎県内の情報産業に携わる企業による非営利一般社団法人です。関係者の方々のご指導・ご支援に厚く感謝すると共に、日頃のご協力に深く敬意を表します

【住所等】

◆代表者名:会長 濵本 浩邦 (不動技研工業株式会社 代表取締役会長)

◆所在地 : 〒850-0032 長崎市興善町 4番 6 号 701

◆電話番号:095-824-0332, FAX番号:095-824-0813

ホームページ: URL: http://www.nagisa.or.jp

◆会員数 : 89 社 (正会員:83 社、特別賛助会員:6 社) [2023.2.1]

【経歴】

任意団体『長崎県ソフトウェア産業協議会』設立(1988-9-1)

社団法人『長崎県ソフトウェア産業協会』設立(1993-5-28)

社団法人『長崎県情報サービス産業協会』改名(1996-3-31)

社団法人『長崎県情報産業協会』改名(2006-9-19)

一般社団法人『長崎県情報産業協会』一般社団法人へ移行(2012-4-1)

現在に至っています。

【会員】

会員の社員数:約8,900名

○正会員:長崎県内に活動拠点を置く情報関連事業及び情報サービス業を営む個人、法人。

○特別賛助会員:事業を賛助する法人、個人

役員(理事・監事・顧問)

会長	濵本 浩邦	不動技研工業㈱(代表取締役会長
副会長	須藤 英明	アイティースペース(株) 代表取締役
	北口 功幸	㈱亀山電機 代表取締役会長
理事	山口 知宏	㈱アドミン 代表取締役
	渡邊 哲之	エコー電子工業㈱ 執行役員ソリューション部部長
	山口 弘毅	NBC情報システム㈱ 取締役ソリューションシステム本部長
	川渕 和之	㈱NDKCOM 取締役ITソリューション部長
	松尾 隆宏	扇精光ソリューションズ㈱ 執行役員統括部長
	石橋 圭介	オフィスメーション㈱ 代表取締役
	岩永 龍一	ケービーソフトウェア(株) 代表取締役
	村井 浩一	(株)システック井上 インダストリアルソリューション部部長
	城戸 和則	(株)ディーエスブランド 顧問
	柿田 茂博	(株)デュアルキーシステム 代表取締役
	岩永 健	制正文社印刷所 代表取締役
	山口潤次郎	(株)長崎ケーブルメディア 執行役員 通信事業部部長
	坂本 信良	(株)日本ビジネスソフト 常務取締役
	徳永 真也	(株)シアスタ ITソリューション事業部部長
	峰松 浩樹	(前ランカードコム 代表取締役
監事	馬場﨑 務	リコージャパン(株) 長崎支社長
	髙橋 康至	(株)イシマル ソリューション営業部次長
顧問	中野 一英	㈱NDKCOM 代表取締役会長
	佐藤 康彦	システムファイブ(株) 代表取締役

組織・委員会

会長·副会長

会長: 濵本 浩邦 (代表理事)

副会長:須藤 英明(理事)、北口 功幸(理事)

企画委員会

委員長:石橋 圭介(理事)、副委員長:山口 知宏(理事) 事業及び各種調査の企画、行政への要望、業界の振興に関する事業

総務広報委員会

委員長:岩永龍一理事)、副委員長:徳永真也(理事)、川渕和之(理事)

事務局との連携による協会運営に関わる事業、広報活動

研修技術委員会

委員長: 峰松 浩樹 (理事)、副委員長: 村井 浩一(理事) 人材育成、各種研修事業及び技術に関する企画・実施

県南拡大委員会

委員長:松尾 隆宏(理事)、副委員長:山口 潤次郎(理事)

山口 弘毅(理事)、会員拡大に関する事業 (長崎市、諫早市、島原半島)

県北拡大委員会

委員長:坂本 信良 (理事)、副委員長:渡邊 哲之(理事) 会員拡大に関する事業 (大村市以北、佐世保市とその近隣地域)

交流委員会

委員長:柿田 茂博 (理事)、副委員長:城戸 和則(理事)、岩永 健(理事) 会員相互及び対外的な交流事業の企画・実施

事務局

事務局長:堤 好一郎 事務全般に関する事項

会員紹介



事業紹介

主な事業

【1】地域情報化事業

- 1. ビジネスの発展・技術の向上に寄与する有効な最新情報の収集・提供
- 2. 協会報「NISA NEWS」、会員メール、ホームページ(お知らせ欄)による広報活動

【2】交流事業

- 1. 会員間の親睦と研鑽のための「ビジネスコラボ会」(定期懇親会)の開催
- 2. 会員のビジネス連携を目的とした交流会の実施(1月:新春講演会・交流会、6月:総会・講演会・交流会)
- 3. 行政、大学、団体等との連携強化を目的とした「産学官交流会」、「各種セミナー」、「意見交換会」の開催
- 4. 会員企業、他県企業との交流促進のためのイベント開催による親睦活動(ANIA全国大会、地域連携)
- 5. 優秀な人材確保のための大学、高専、情報系高校との「企業説明会」、「意見交換会」の実施

【3】研修事業

1. 高度IT技術者育成支援のための研修開催(厚生労働省助成金を活用したNISA-IT技術研修、他)

【4】地域情報セキュリティ促進、及び地域コミュニティ形成促進事業

- 1. 経済産業省が推進する「中小企業サイバーセキュリティ対策促進事業」(令和2年度受託)の継続推進。
- 2. 経済産業省(IPA)が推進する「SC3(サプライチェーン・サイバーセキュリティ・コンソーシアム)」の活動推進。(SC3会員)

【1】地域情報化事業(情報収集·情報提供)

国、県、市、大学、他団体との情報交換

情報産業に関わる関係機関からの情報を「ホームページ」に掲載し、会員 へ「メール配信」にて提供し、タイムリーにワンストップでお知らせしています。

(大学・高専・情報系高校)



長崎県

★ 長崎市 県内各自治体 等

長崎県産業振興財団·長崎県工業

技術センター・長崎県警察本部

NISA理事会 Regard IT Station Industry As NISA会員 (89社) (正会員:83社)

(特別賛助会員:6社)

【団体】長崎県中小企業団体中央会・長崎県工業連合会(長崎工業会、 他)・(公)ながさき地域政策研究所・(独)中小企業基盤整備機構(D-FLAG)

(国・関連機関の情報)





デジタル庁



(加入団体・関連団体)







【2】交流事業

国内外の関係団体との情報交換や交流を通じて、それぞれの地域における情報化や情報サービス産業の状況を把握し、また、上部 団体(ANIA、JISA)、他団体、産学官との交流によって協会運営に役立てます。

また、「産学官交流会」・「ビジネスコラボ会」・「講演会」・「セミナー」等を開催して、会員の保有する技術力・営業力をお互いに把握する と共に、親睦・交流・信頼関係を深め、協業による新ビジネス開拓、システム開発、商材開発等によって、地域社会の発展に寄与します。

(1) 会員相互の親睦と交流

同業者とはいえ会社毎に業種や経営者の考え方は様々です。NISAは、会員間の親睦・交流の場を提供します。

(2) ビジネス交流の促進

2 カ月に1回程度の「ビジネスコラボ会」(定期懇親会)を開催し、相互の信頼関係に基づいた協業関係がビジネスに結びつく チャンスとなるよう、情報交換や交流の場を提供します。

(3) 会員間情報交流

毎年開催の、6月の「通常総会・講演会」と、1月の「新春講演会」に於いて、会員企業による「わが社の一押し」発表会を 開催し、自社の事業紹介や商材、保有技術、システム開発事例等の発表の場を提供します。

- (4) 産・学・官交流会 会員企業と、大学・高専・高校の情報系学部(学科)、及び行政(県・市)との交流の場を提供します。
- (5) 他県の情報産業協会(団体)や全国規模の関連団体、及び企業との交流 県内、県外を問わず、関連団体との有益な情報交流の場を提供し、会員参加の機会を提供します。
- (6) 一般社団法人全国地域情報産業団体連合会(ANIA)の理事を務めており、他県情産協との交流を図ります。
- (7) 一般社団法人情報サービス産業協会 (JISA) の「地域高度化事業」 (公益目的事業) を推進します。
- (8) 独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) の活動に協力し地域のセキュリティ対策を促進します。(地域SECUNITY)













【3】研修事業 (IT人材育成事業)

IT技術者研修事業 (長崎県後援「情報技術者育成研修事業」)

- (1) 長崎県の後援を受けた「情報技術者育成研修」として、就業者向けに「NISA-IT技術者研修」を毎年実施しています。 講師は、(㈱富士通ラーニング*メデ*ィアの他、東京など首都圏から実践を積んだ専門講師を招き、地場でIT技術研修を受講できます。 講座内容は、最新技術を含む約60件の講座の中から、会員が希望する講座のアンケートを取り、22講座を選定しています。
- (2) 厚生労働省「人材開発支援助成金」を適用できる講座としており、助成金利用により受講料の負担を60~80%軽減できます。
- (3) 上記、就業者IT研修の他に、毎年4月~6月に「38日間集中」の「新入社員研修(IT エンジニア育成研修)」を実施しています。 2022年度の新入社員研修は、「長崎市会場」と「佐世保市会場」の2カ所の会場で「対面式集合研修」を実施しました。
- (4) 上記の他に「JISA」の地域高度化事業として「IoT実践講座」を開催し、会員外の一般受講者を含めた研修を実施しています。



- ①NISA-IT研修は、2008(H20)年 より実施しており、2021(R03)年まで の13年間の受講者数は、**累計3,000名** となりました。
- ②2020(R02)年度は、新型コロナウイルス 感染拡大のため、6講座を中止しましたが、 年間121名に受講して戴きました。
- ③2021(R03)年度は、1講座を中止し、 169名に受講して戴きました。
- ④2022(R04)年度は、受講者数目標を「22講座、200名」として実施中です。

「NISA-IT技術研修」のご紹介

IT人材育成・ITスキルアップ研修として下記の3パターンの研修を実施しています。

厚生労働省「人材開発支援助成金」が適用できます。

【1】新入社員(新人)ITエンジニア育成研修「C#.NET技術者養成コース」

2ヶ月(38日)間の研修で、驚きの成長・戦力化

(2022年度:下記実施済。2023年度:募集中) ①長崎会場(対面研修): 4/6~6/2 (4社6名) ②佐世保会場(対面研修):4/5~6/1 (2社7名)





【2】NISA-IT技術研修 (就業者向人材育成)

(2022年度:年間22講座を開講中 右記参照) 会員外の受講も可能。(助成金の利用が可能)





【3】JISA/NISA共催研修 (地域高度化事業)

「03J1:人工知能入門講座(実践編)」 2022年3月10·11日(6名)開催済。 (次回、2023年3月9日-10日 開催予定)

◆2022(令和4)年度 NISA-IT技術研修(開催日·講座名)(22講座、受講数目標200名)

開催月	日程	講座	講師	講座名・研修内容(1日7時間×3日間コース)		
6月	6/22 ~6/7/8	01a	AES	仕事の段取り力養成講座		
7月	7/6 ~7/8	02s	FSC	失敗しないプロジェクトのためのリスク先読み力		
	7/13 ~7/15	03j	FLM	JavaによるWebアプリケーション開発力養成トレーニング		
	7/23 ~7/29	04a	AES	すぐに使える統計解析 ~IOT・ビッグデータにも活用!~		
8月	8/3 ~8/5	05j	FLM	Webシステム構築の基礎 ~IIS/. NET/SQLServer~		
	8/17 ~8/19	06a	AES	データベース設計とデータモデリング		
	8/24 ~8/26	07j	FLM	ネットワークの基礎		
9月	9/7 ~9/9	08a	AES	WEBサイト構築における情報セキュリティ基礎		
	9/28 ~9/30	09a	AES	エンジニアのスキルを徹底活用するための書き方・話し方		
10月	10/5 ~10/7	10s	FSC	ルータを中心に学ぶネットワーク基礎とセキュリティ		
	10/26 ~10/28	11s	FSC	信頼されるSEに求められる問題解決力		
11月	11/9 ~11/11	12s	FSC	IT技術者のためのコミュニケーション研修		
	11/16 ~11/18	13s	FSC	ファイアウォールで学ぶネットワークセキュリティ		
	11/30 ~12/2	14j	FLM	ネットワークの基礎ステップアップ運用編~初歩から学ぶ、通信解析&ログ監視~		
12月	12/7 ~12/9	15s	FSC	IT技術者のためのリーダーシップ		
	12/14 ~12/16	16a	AES	エンジニアの対人対応力強化ビジネスコミュニケーション		
2023年	1/11 ~1/13	17a	AES	ソフトウェア開発のためのモデリングとUI設計		
1月	1/25 ~1/27	18a	AES	ケースに学ぶITプロジェクトにおけるリスクマネジメント		
2月	2/1 ~2/3	19s	FSC	IT技術者のためのドキュメンテーション研修		
	2/8 ~2/10	20j	FLM	基礎から学ぶセキュア環境構築・運用入門		
3月	3/1 ~3/3	21a	AES	ケースに学ぶ「Tプロジェクトにおける品質マネジメント		
	3/15 ~3/17	22a	AES	プロジェクトチームの現場力向上〜プロジェクトのファシリテーション〜		
※講師:FLM(富士通ラーニングメディア)、AES(麻生教育サービス)、FSC(福岡ソフトウェアセンター)						

【4】地域情報セキュリティ促進、及び地域SECUNITY形成促進事業

NISA 情報セキュリティ部会を設立し、経済産業省(九州経済局) SC3 地域SECUNITY 形成促進事業 (WG、WS)への参加、及び、セキュリティ関連セミナー開催等により会員企業の情報セキュリティ対策を促進。

- 1. 経済産業省が推進する「中小企業サイバーセキュリティ対策促進事業」(令和 2 年度受託)の継続推進。
- 2. 経済産業省(IPA)が推進する「SC3(サプライチェーン・サイバーセキュリティ・コンソーシアム)」の活動参加。

講演・セミナー事業

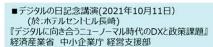
政府をはじめ地方公共団体では、地域情報化に向けて、「Society5.0」、「DX化推進」を掲げ、広く産業界、および一般利用者への情 報サービスの向上や業務システムの最適・最新化を図るため、情報通信技術(ICT)化を強く推進しています。また、産業界では、IoT・ク ラウド・AI 技術の展開が急速に進みつつあり、これらの技術の共有が急務です。

これらの実現のためには、ICT 化に関わる政府をはじめ地方自治体、産学及び団体が取組んでいる施策に関する情報について、産学官 で知見を深め、共有することが重要です。 そこで、その情報化に関する啓蒙普及の一環として、産学官の各専門家を招聘し情報提供、 技術習得に関する講演会・セミナーを開催しています。

◆産学官・他団体・メーカー等との連携、及び講演会・セミナー開催。

- (1)長崎県産業労働部(新産業創造課、他関連部門)
- (2)大学(長崎大·県立大·総科大)·高専 (産学連携)
- (3)長崎県次世代情報産業クラスター協議会(会員)
- (4)(公財)長崎県産業振興財団(誘致企業連携等)
- (5)長崎工業会/長崎県工業連合会(製造業連携等)
- (6) 長崎県中小企業団体中央会(会員)
- (7) JISA:(一社)情報サービス産業協会(情報共有、研修)
- (8) IPA:(独)情報処理推進機構(情報セキュリティセミナ-等)
- (9)(一社)iCD(アイ・コンピテンシ・ディクショナリ)協会(賛助会員)





[実施例紹介]

技術・経営革新課長 田辺 雄史様

■デジタルの日記念講演(2021年10月11日) (於:ホテルセントヒル長崎) 長崎県 企画部 政策監 兼 産業労働部政策監 (前・経済産業省デジタル戦略官) 三上 建治様



■NISA 新春講演会 (2023年1月26日) (於:ホテルセントヒル長崎) 特別講演 『新年展望:我々を取り巻く環境変化について ~Web3.0、キャリア自律、サステナビリティ経営など~』 株式会社CAC Holdings 特別顧問 長崎大学経済学部非常勤講師

地域の情報産業団体としての活動(他県、他団体との交流促進)

ANIA(一般社団法人全国地域情報産業団体連合会)の理事活動と、地域(地場)情報産業の発展

「ANIA全国大会・長崎大会:2017(H29)年11月9日-10日開催」の事例紹介(全国から約300名に出席して戴きました)

http://www.nagisa.or.jp/info/data/tmp/01info2167.pdf http://www.nagisa.or.jp/info/data/tmp/01info3484.pdf

(長崎大会参加者) ·経済産業省 (九州経済産業局、商務情報政策局)

- 長崎県(産業労働部、総務部、企画部)
- ・長崎県工業技術センター、長崎県警察本部

- ·長崎市 (商工部)
- ·(公)長崎県産業振興財団·、NISA(長崎県情報産業協会)
- ・(公)ながさき地域政策研究所()
- ·(独)中小企業基盤整備機構(D-FLAG)
- ·ANIA(全国地域情報産業団体連合会)地域団体会員
- ・JISA(情報サービス産業協会)
- ·IPA ((独)情報処理推進機構)
- ·IT連(日本IT団体連合)
- ・ITCA(ITコーディネータ協会)
- ・(一社)コンピュータソフトウェア協会
- ・(一社)ITビジネス研究会
- ・全国ゾフトウェア共同組合連合会
- ·(特定)日本情報技術取引所
- ·長崎大学
- ·長崎県立大学
- ·長崎総合科学大学
- ·国立佐世保高専



地域連携:他県・他団体・企業との交流促進

(2023年度は、福岡大会が予定されています)

《主な活動》

- NISA会長は、ANIA理事として、 年間4~5回開催される定例のANIA 理事会へ出席し全国の情報産業団 体と情報・意見交換を行っています。
- 毎年、ANIA新年賀詞交換会と、 ANIA総会が東京(※)で開催され、 「IT団体連盟」と共催のイベントに NISA会員も出席し、行政(総務省、 経産省)、及び関連団体との交流促 進を図っています。(※霞が関ビル)
- 事務局は、ANIA事務局長会議 へ出席し、全国の情報産業協会と 情報交換を行っています。
- ANIA情報を、NISA会員へ発信し 全国地域の情報を共有しています。

一般社団法人 長崎県情報産業協会(NISA)

当協会(NISA)は、情報化に関する技術の調査研究及び研修を行うとともに、 情報化に関する知識の普及啓発を行うことにより、地域社会の高度情報化の促進を図り、 もって長崎県における経済及び社会の発展に寄与することを目的としています。

1 情報産業の振興に関する事業

2 情報産業に関する技術の研究開発事業

3 情報産業の経営基盤の確立整備に関する事業

4 情報産業に関する国内交流事業及び国際交流事業

⑤ 情報産業に関する研修教育事業

6 情報化に関する調査及び啓蒙普及事業

🕜 官公庁、団体その他の関係機関との連携協調及び建議

⑧ 情報産業を支援する補助金・助成金に関する調査 及び啓蒙普及事業

9 その他本協会の目的を達成するための必要な事業

NISAは、 会員の拡大に つとめております。



NISAは地域の様々な情報関連企業、 また多種の技術力を持った人の集まりです。

相互交流によって、会員企業のための様々なビジネスチャンスや協業が生まれております。 受け身ではなく「積極的な行動」によって、場所と機会を活用して頂いています。 NISAは地域の情報関連事業や、そのための「場所」・「機会」・「情報」等を提供しています。

無限に拡がる相互繁栄の環

COMMUNICATION & COLLABORATION

■上部団体のご紹介

JISA

一般社団法人情報サービス産業協会

主要な情報サービス企業で構成する業界団体です。 業界各社の経営や技術の高度化、国際交流、社会全般に おける情報化の推進等、高度情報化社会の実現をとおし て社会に貢献しています。

ANIA

一般社団法人全国地域情報産業団体連合会

地域の情報通信産業の発展のため、また情報通信インフラの整備や未来の社会づくりのための活動を行っております。ANIAは北海道から沖縄までの情報通信産業団体の正会員と中央の特別会員団体、賛助会員企業から構成されております。

NISA会員のメリット

- ●助成金の受給に対する諸手続きの支援により業務の効率化ができます。
- ●研修に参加でき、優秀な人材の育成が地場で可能です。
- ●国・自治体・他団体からの情報をワンストップでタイムリーに配信 しますので、早急な企業活動が可能となります。
- ●会員間のコラボレーションを強力に推進していますので、協業・互助により、大規模システム開発へ挑戦できます。
- ●人材(人財)紹介、融通により、高度なシステム開発ができます。
- ●他団体や海外企業との交流によりニーズ・シーズの発掘とビジネス 拡大ができます。
- ●講演会・セミナーへ参加して技術や経済のトレンドを把握して、事業 戦略に役立てることができます。

■NISAの沿革

任意団体『長崎県ソフトウェア産業協議会』設立(1988-9-1) 社団法人『長崎県ソフトウェア産業協会』設立(1993-5-28) 社団法人『長崎県情報サービス産業協会』改名(1996-3-31) 社団法人『長崎県情報産業協会』改名(2006-9-19) 一般社団法人『長崎県情報産業協会』移行(2012-4-1)

NISAの会員

正会員の社員数:約8,900名

- ●長崎県内に活動拠点を置く情報関連事業及び情報 サービス業を営む個人、法人。
- ●特別賛助会員:事業を賛助する法人、個人

NISAの役員

会長、副会長をはじめ、理事、監事を選任し運営

■主な行事と活動

● 地域情報化事業(情報収集・提供)

長崎県をはじめ、自治体、各種団体等と連携・協力しながら、地域 IT化の取り組みや施策の提案等を行います。また、地域や国内外 の情報産業に関わる情報提供等を通して、会員企業の繁栄を目指 します。

2 講演・セミナー事業

ICT化に関わる政府をはじめ地方自治体、産学及び団体が取り組んでいる施策・技術・運営等に関し、講演会・セミナーを開催ます。この事業で、新製品・新サービスの開発ヒントを得て、地域企業・地域社会の発展に貢献します。

(例) セキュリテイに関するマネジメント・技術セミナー ヒューマンヘルスケアに関するセミナー クラウド化に関する取組み・ビジネス拡大セミナー

③ 研修事業(「高度な能力ある人材開発」を推進)

- (1)長崎県後援のIT技術者研修を実施し、地場で研修ができ、時間の有効活用が図れます。国や地方自治体の助成金・奨励金 受給のための情報提供や申請の支援活動によって、効率的な申請と受給が可能となり、安価な受講料となります。
 - (例) 初級・中級・高度技術系・ヒューマン系研修を、年間を通して、 22~25講座を開設・実施 (受講者:年間 約200名)
- (2)情報サービス産業協会(JISA)の高度化事業等を活用し、 技術研修会、経営講演会を実施します。
 - (例) Androidアプリケーション開発、 BABOKの基礎と活用
- (3)国の助成金・他団体との提携研修
 - (例)新入社員から2-3年社員のオープン系開発技術者養成研修 サーバー仮想化環境構築研修、クラウドプログラム実践研修 ファシリテーター養成、研修

4 iコンピテンシ・ディクショナリ(iCD)ワークショップ

県内IT企業の高付加価値型企業への変革を目指し、企業戦略に沿った戦略的IT人材育成を図るため、iCDを活用したスキル標準の導入を支援しています。

5 助成金受給支援事業

「人材開発支援助成金」(厚生労働省)を会員企業で円滑、かつ合理的に実施できるように支援します。

6 交流事業

- (1)上部団体である情報サービス産業協会(JISA)、全国地域情報産業団体連合会(ANIA)の全国・地方大会へ参加して、経済産業省・総務省等の関連省庁の方針施策を入手し重要方針施策について、告知します。
- (2)産学官の情報交換とニーズ・シーズの相互把握を目的とし、産 学官交流会、会員間交流会を実施します。
- (3)地域における情報産業を営む企業の提案力・技術力・営業力を相互に把握するために、「わが社の一押し」(得意技術・製品・分野等)の発表会を開催し、協業して新ビジネスを発掘の場を提供します。
- (4)会員間の親睦·交流を深め信頼関係を高めるため「ビジネスコラボ会」を行い、協業して新ビジネスを開発する場を提供します。
- (5)地域連携事業

地域IT利活用促進のため、ベンダー・ユーザー・行政機関等関係者と連携した仕組み作り及び地域ユーザー・ベンダー間ビジネス連携促進について活動しています。

NISA とは Nagasaki IT Solution industory Association